

まちづくり 問 都市整備課 ☎45-8128 FAX43-2945

公共空間活用社会実験を実施



スポーツを楽しんだり、パラソルの下でくつろいだり

市では、公民連携事業による新しい暮らしや働き方を模索するため、「憩う」「食べる」「遊ぶ」「働く」ことに着目し、公共空間を活用した社会実験を行いました。

この事業は、砂沼広域公園の観桜苑前の芝生広場を中心会場として、10月15日～18日、23日、24日の計6日間行われました。会場には可動椅子や机、パラソルを設置し、キッチンカーでの飲食の販売や無料Wi-Fiなどを提供することで、いつもの公園がカフェやリビング、オフィスとして利用できるような環境を作りました。また、砂沼で初のスタンドアアップパドルボードやパークヨガ、グラスバレーなど、新しいアクティビティも試されました。

会場には家族連れや友人グループ、遊歩道をウォーキング中の人々が訪れ、思い思いの時間を過ごしていました。この事業の結果は、今後の公民連携での公共空間活用の参考とする予定です。

まちづくり 問 都市整備課 ☎45-8128 FAX43-2945

コンディショニング体験会「放課後カラダ自己面談」を開催



コンディショニング指導を受ける受講者

まちづくりの最小単位は人です。一人一人が元気で生産性の高い豊かな暮らしをすることが、地方創生の一つのカギとなっており、「コンディショニング」は体を整えて仕事で高いパフォーマンスを発揮したり、老後を楽しむ元気に暮らすための基礎を作るものです。

市は、市内在住・在勤・在学(高校生以上)の方を対象に、10月5日～12月7日の毎週月曜全10回の予定で、コンディショニング指導と実践を行います。この講習会に参加した方は、肩こり・腰痛などに悩む方、スポーツ活動を怪我なく更に高いパフォーマンスで実践したいと考えています。参加者の矢貫千恵子さんは、「肩の痛みが取れ、背筋が伸びて体が軽くなりました。継続は力なりを改めて感じます」と話していました。

温かい善意ありがとうございます



左から広瀬副部長、野村副部長、菊池市長、前野部長、横瀬教育長、青木副部長

下妻市商工会青年部が非接触型体温計を寄贈

10月2日、下妻市商工会青年部の役員の方々が市役所を訪れ、非接触型体温計85台を寄贈しました。前野弘明青年部長は、「これからの下妻を担う子どもたちに、何かできることはないかと部員全員で考え、体温計を寄贈することにしました」と話していました。寄贈された体温計は市内小中学校で児童生徒の健康チェックのために活用させていただきます。

有料広告欄

英語教育 問 指導課 ☎44-0746 FAX43-9608

オーストラリアの中学生とオンライン英語交流



スクリーンに映るオーストラリアの生徒と交流する東部中学校生徒

10月13日、東部中学校の2年生とオーストラリア「エピング・セカンダリー・カレッジ」の7、8、9年生(日本の中学生に相当)が、インターネットを通じ、オンライン英語交流を行いました。

今回の交流は、市の英語教育推進事業の一環として実施したもので、グローバルに活躍する人材を育成しようという目的で行われたものです。オーストラリアでも、新型コロナウイルス対策のため、8・9年生は各自宅から交流に参加し、学校や互いの国の文化などを紹介していました。

2年生の河田侅奈さんは、「オーストラリアの文化を知ることができ、また、英語で自分の学校や日本の文化を紹介できて、とても楽しかったです」と話していました。

特別展示 問 ふるさと博物館 ☎44-7111 FAX44-7115

レコードジャケット展を開催



展示品を観覧する来場者

ふるさと博物館で、10月10日から11月15日まで開催されている「レコードジャケット展」では、1960年～70年代のものを中心に、LPレコード・シングルレコード・ソノシートを展示しています。

レコードには、CDにはない、ジャケットのデザインの魅力があります。この展覧会では、来館者に当時の各々の青春時代を懐かしんで見てもらうため、博物館に寄贈されたレコードの中から、レコードジャケットを中心に紹介しています。

今回の展覧会を企画したふるさと博物館の宮本和人館長は、「文化遺産としてレコードを活用してほしいです。ジャケットのデザインの素晴らしさを感じてもらえれば」と、企画の意図を説明していました。

読書活動 問 図書館 ☎43-8811 FAX43-8855

ボランティアによる絵本の読み聞かせ会

下妻市立図書館では子どもたちに絵本や紙芝居に親んでもらうため、毎週土曜日に図書館ボランティア「おはなしの花たば」のメンバーによる読み聞かせ会を行っています。

新型コロナウイルス対策を取って、午前11時から15分程度と時間を短くして開催しています。1回当たりの参加者は3組までとして、「三密」にならないよう工夫しています。参加した子どもたちは、食い入るように絵本に見入っていました。

11月からは第2第4日曜日に職員による読み聞かせ会も始まり、定員はそれぞれ5組までとなります。



読み聞かせは、ソーシャルディスタンスを保って実施しています

有料広告欄